

みんなが守られる社会へ

宇和島 17団体が活動を紹介



写真や説明パネルで団体の活動を
紹介する企画展示

宇和島市で人権保護
や障害福祉に関わる団

体の活動を紹介する企
画展示が4日、同市鶴

島町のパフィオうわじまで始まった。人権週間（4～10日）に合わせ「NPOだれもが取り残されないプロジェクト」が初めて企画。市内17団体が出展している。8日まで。

活動を広く知ってもらい、団体同士のつながりを強めようと同NPOが呼びかけ、障害者や支援者の団体、市社会福祉協議会、行政機関などが応じた。会場では、誰もが集えるカフェの運営や地域での清掃活動といった様子を伝える写真をはじめ、西日本豪雨災害をきっかけにした防災啓発の取り組みなどを紹介するパネルを並べている。

同NPOの稲葉哲也代表(65)は「さまざま活動を知ってもらい、当事者は自分自身を守るための知識を身に付けてもらいたい」と話していた。

(阪和舞)

「みんなが守られる社会へ」2024年12月5日付 愛媛新聞

(掲載許可番号: d20241209-01)